

令和4年度第1回鹿児島県サイクルツーリズム推進協議会 会次第

日時：令和4年5月23日（月）

13：30～15：00

場所：西原商会アリーナ(オンライン併催)

1. 協議会 議題内容

(1) 開 会

(2) 議 事

1.協議事項

① モデルルートの承認について

モデルルート（九州・山口広域推奨ルート）について

……………資料 1

モデルコース（奄美大島・徳之島・沖永良部島）について

……………資料 2

② サイクルルートに係る走行環境整備方針について

……………資料 3

③ 地域部会について

……………資料 4

2.報告事項

令和4年度事業計画について

……………資料 5

(3) 意見交換

(4) 閉会

【会議資料】

- ・資料 1 モデルルート（九州・山口広域推奨ルート）について
- ・資料 2 モデルコース(奄美大島・徳之島・沖永良部島)について
- ・資料 3 サイクルルートに係る走行環境整備方針について
- ・資料 4 地域部会について
- ・資料 5 令和4年度事業計画について

- ・別紙 1 協議会規約
- ・別紙 2 第1回協議会参加者名簿

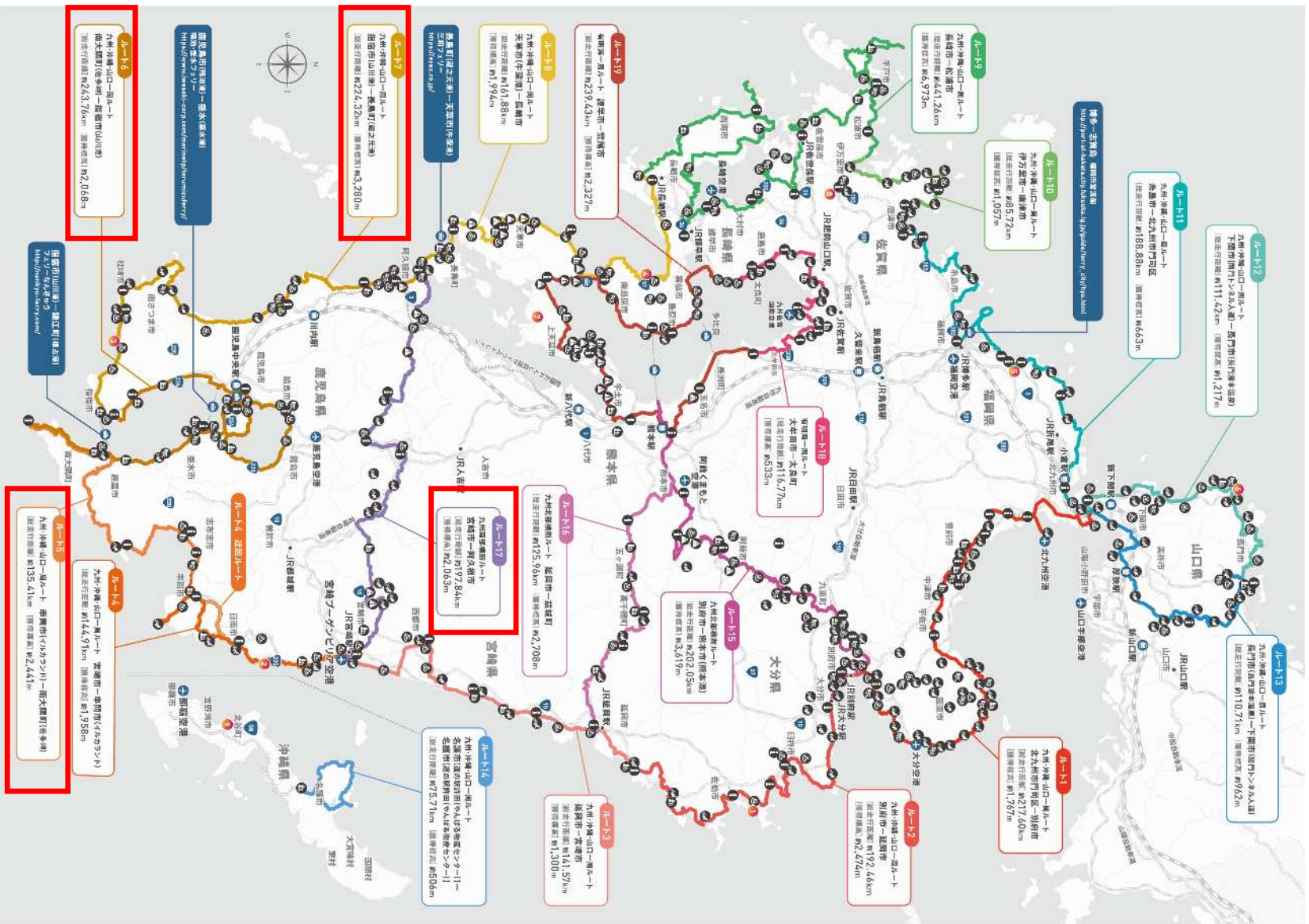
協議事項 モデルルート(九州・山口広域推奨ルート)について

九州・沖縄・山口の各県・経済界が連携して九州・山口広域推奨ルートを設定。その中の「九州・山口一周ルート」で鹿児島県を通る3ルート, 阿久根市から宮崎県を横断する「九州南部横断ルート」を県のモデルルートに位置づけ, 受入環境整備, 情報発信等を行う。

■九州・山口サイクルツーリズム広域推奨ルート(県版)設定状況

平成30年度	九州地方知事会にて提案
令和2年10月	第1回九州・山口サイクルツーリズム広域推奨ルート(県版)設定検討会にてルート検討
令和2年11月	第2回九州・山口サイクルツーリズム広域推奨ルート(県版)設定検討会にてルート決定
令和3年5月	九州地方知事会において広域推奨ルートの公表
令和4年2月	九州南部横断ルートの追加

九州・山口広域推奨ルート 九州・山口サイクルーズ推進委員会 作成



モデルルート(案)1:志布志市 - 南大隅町ルート

起点:志布志市 終点:佐多岬(南大隅町)

ルート5

九州・沖縄・山口一周ルート
串間市(イルカランド) - 南大隅町(佐多岬)

ルート情報はこちら



Strava



Ride with GPS

太平洋を臨み、松林の景観が続く海岸線を通りぬけ、内之浦宇宙空間観測所を間近に走ります。花瀬自然公園や雄川の滝など、自然も満喫。圧巻の大パノラマが魅力の本土最南端の佐多岬がゴールです。

[総走行距離] 約135.41km [獲得標高] 約2,441m



VIEW POINT



1 雄川の滝上流展望所



2 佐多岬

BREAK POINT



3 宙の家-SORA no IE-



4 あすばる大崎



お国自慢



5 うなぎ



6 えっがね



7 柏原海岸-ルーベリン畑



8 花瀬自然公園

モデルルート(案)2:南大隅町 - 指宿市ルート

起点:佐多岬(南大隅町) 終点:山川港(指宿市)

ルート6

九州・沖縄・山口一周ルート
南大隅町(佐多岬) - 指宿市(山川港)

ルート情報はこちら



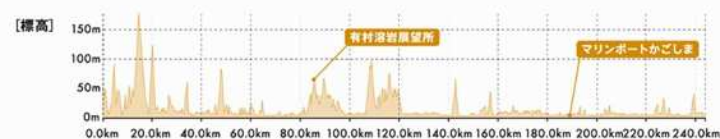
Strava



Ride with GPS

雄大な景色が日本百景に選定されている錦江湾を一周するルート。湾を囲む薩摩半島と大隅半島は、道の駅や立ち寄りスポット、疲れを癒す温泉など充実。フェリーを利用し、自分に合わせたコース設定が可能です。

[総走行距離] 約243.76km [獲得標高] 約2,068m



VIEW POINT



1 荒平天神



2 重富海岸

BREAK POINT



3 道の駅たるみず



4 ユクザおすみ湾の学校



お国自慢



5 かんばち



6 福山の黒酢



7 桜島



8 砂むし温泉

モデルルート(案)3:指宿市ー長島町ルート

起点:山川港(指宿市) 終点:蔵之元港(長島町)

ルート7 九州・沖縄・山口一周ルート
指宿市(山川港)ー長島町(蔵之元港)

ルート情報はこちら



Strava



Ride with GPS

前半は、かつお節の香りをまといながら走れる世界的にもユニークなコースで、リアス式海岸沿いのアップダウンは走りごたえも十分。青い空や海の美しい風景に魅了され、さわやかな風を感じながら、東シナ海沿いを走ります。

[総走行距離] 約224.32km [獲得標高] 約3,280m



VIEW POINT



1 耳取岬展望所



2 上り浜・汐見の段々畑

BREAK POINT



3 江口蓬菜館



4 大浦ふるさとくらぶ

お国自慢



5 かつお



6 そうめん流し



7 琉球英米留学生記念館



8 肥後おれんじ鉄道



モデルルート(案)4:湧水町ー阿久根市ルート

起点:湧水町 終点:阿久根市

ルート17 九州南部横断ルート
宮崎市ー阿久根市

ルート情報はこちら



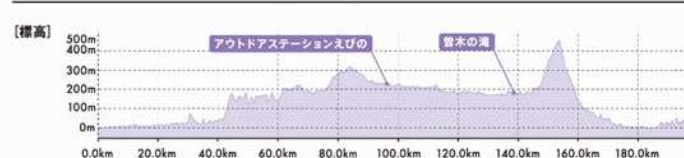
Strava



Ride with GPS

宮崎市からの前半ルートは、自転車専用道路を安全に走行しながら川沿いの景色を楽しめます。霧島連山の雄大な景色も所々で臨めます。鹿児島県に入ると、日本名水百選の丸池湧水、東洋のナイガラと呼ばれる曾木の滝、冬には一万羽を超える鶴を見ることができる出水を巡ることができます。

[総走行距離] 約197.84km [獲得標高] 約2,063m



VIEW POINT



1 霧島連山の景色



2 丸池湧水

BREAK POINT



3 蛸手づくりほんものセンター



4 いずみ親子ステーキごはん

お国自慢



5 小林チョウザメにぎり屋



6 アウトアステーションえびの



7 出水ツルの越冬地



8 曾木の滝


協議事項 モデルコース（奄美大島・徳之島・沖永良部島）について

奄美大島、徳之島、沖永良部島において協議会の開催と実走調査を行い、モデルコース(案)の作成を行った。
サイクルマップはGPXデータを作成するとともに、サイクリングコース共有アプリ「ツール・ド」への掲載を実施

項目	奄美大島協議会	徳之島協議会	沖永良部島協議会
第1回協議会の開催	令和3年10月4日 ●モデルコース(案)の検討	令和3年10月5日 ●モデルコース(案)の検討	令和3年10月6日 ●モデルコース(案)の検討
第2回協議会の開催	令和3年11月4日 ●モデルコース(案)の検討・決定 ●派生コース(案)の協議	令和3年11月5日 ●モデルコース(案)の検討・決定 ●派生コース(案)の協議	令和3年11月8日 ●モデルコース(案)の検討・決定 ●派生コース(案)の協議
有識者及び地域住民とのモデルコース(案)の実走調査	令和3年12月13日～ 12月14日	令和3年12月15日～ 12月16日	令和3年12月17日

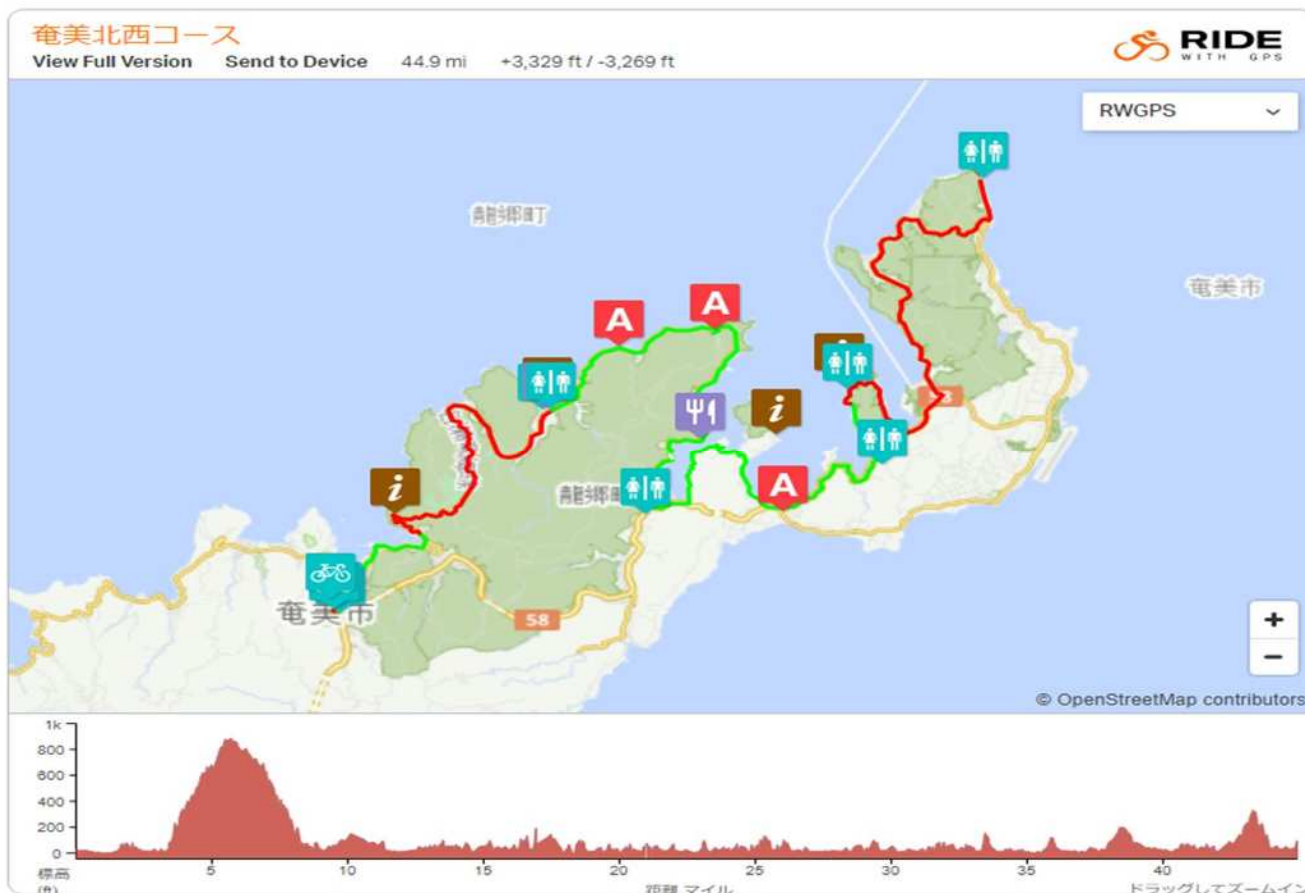
《協議会構成メンバー》

宿泊・飲食・観光事業者，自転車事業者，交通事業者，観光団体，警察，行政（観光・交通・道路）

- 
- ・起伏が激しい地形やレンタサイクルの普及率が低い等の状況から中級者をターゲット
 - ・各島を代表するスポットを巡り、コースを完走することで島を一周する達成感を得られる「シンボリック」なコース
 - ・より幅広いターゲット（初心者，親子，女子旅）に適したコースを「派生コース」として市町村に設定いただくことも想定

奄美北西コース

- 起点: AIAIひろば(奄美市名瀬末広町), 終点: 夢をかなえる「カメ」さん(奄美市笠利町大字用)
- 総走行距離: 約72.3km
- 獲得標高: 約1,015m



【当コースについて】

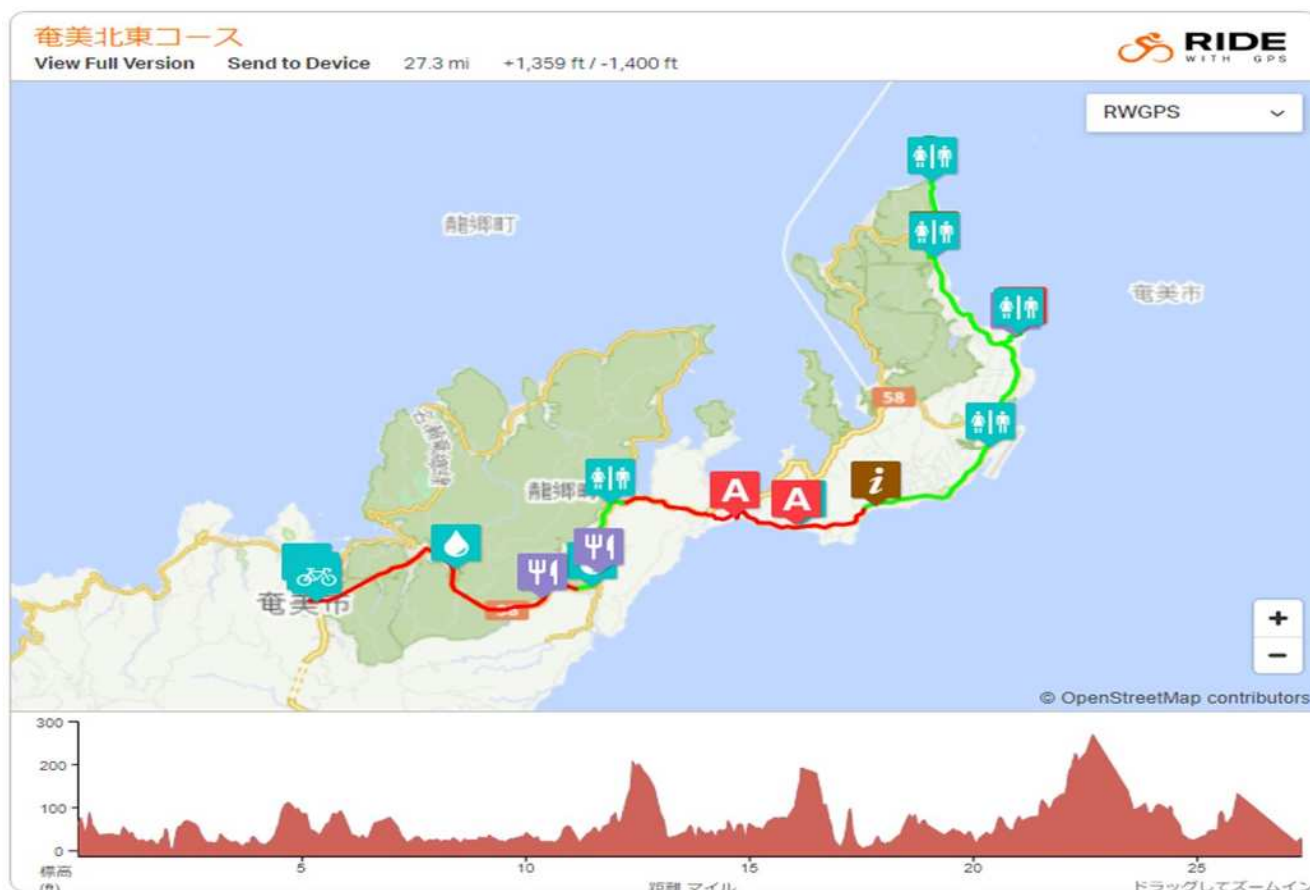
● 出発地の名瀬からは峠があるが、その後は平地が続くコース。かがんばなトンネルや集落に溶け込んだ教会など、様々な景色が見られる。

【注意喚起情報】

● 大熊から鯨浜までは道が狭くなっている。北部にガードワイヤーが外れている箇所があるため注意が必要。

奄美北東コース

- 起点: 夢をかなえる「カメ」さん(奄美市笠利町大字用), 終点: AIAIひろば(奄美市名瀬末広町)
- 総走行距離: 約44.0km
- 獲得標高: 約414m



【当コースについて】

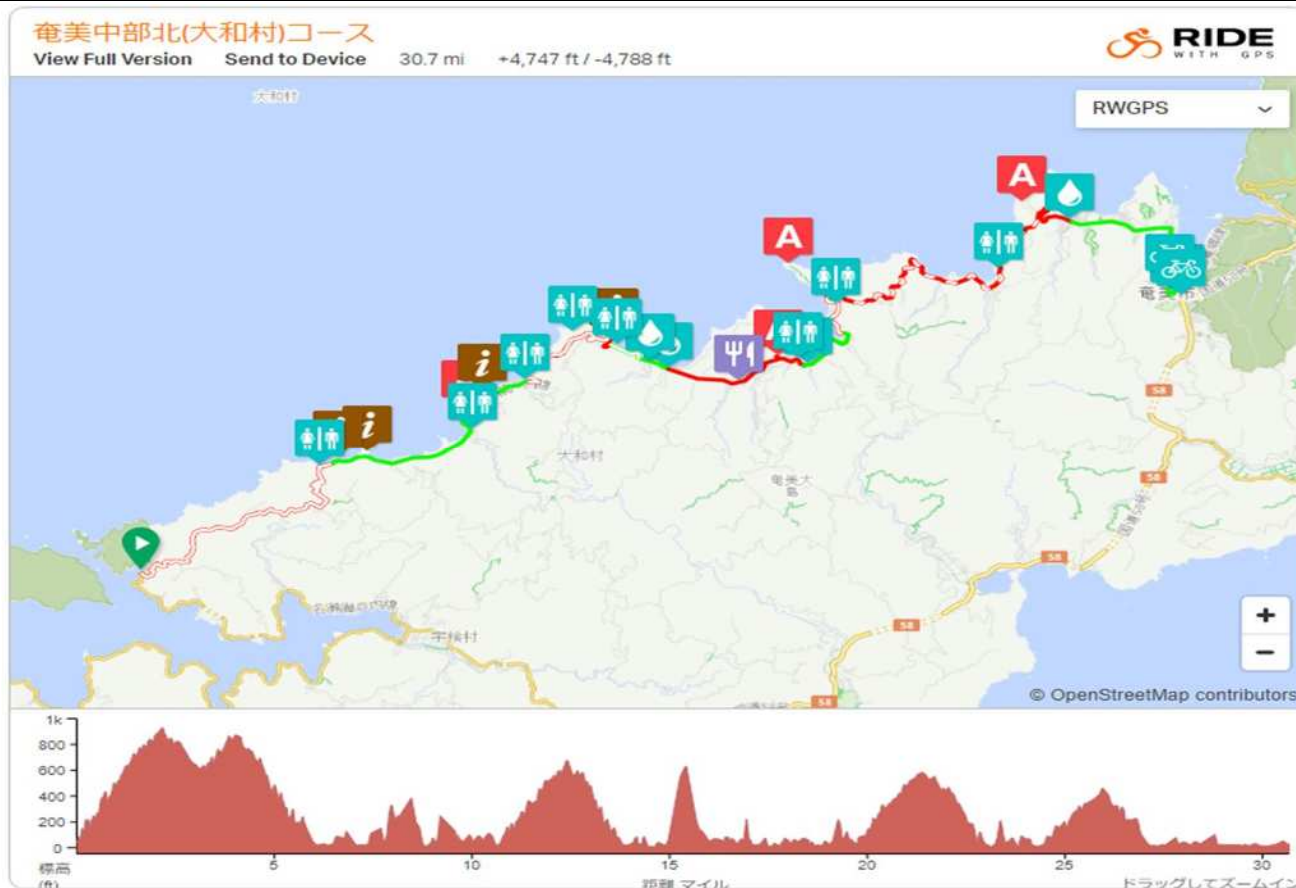
● 右に太平洋, 左に東シナ海を臨む「笠利崎」, 太平洋に突き出す「あやまる岬」など海を感じるコース。
緩い上り下りが続き, レストランも多いので, 奄美の食文化を味わいながらサイクリングを満喫できる。

【注意喚起情報】

● 空港利用者が多いコースのため走行には注意が十分必要。自転車歩行者道には苔があり滑りやすくなっている。

奄美中部北(大和村)コース

■ 起点: 巖島神社(大島郡宇検村宇検), 終点: AIAIひろば(奄美市名瀬末広町)
■ 総走行距離: 約49.3km ■ 獲得標高: 約1,145m



【当コースについて】

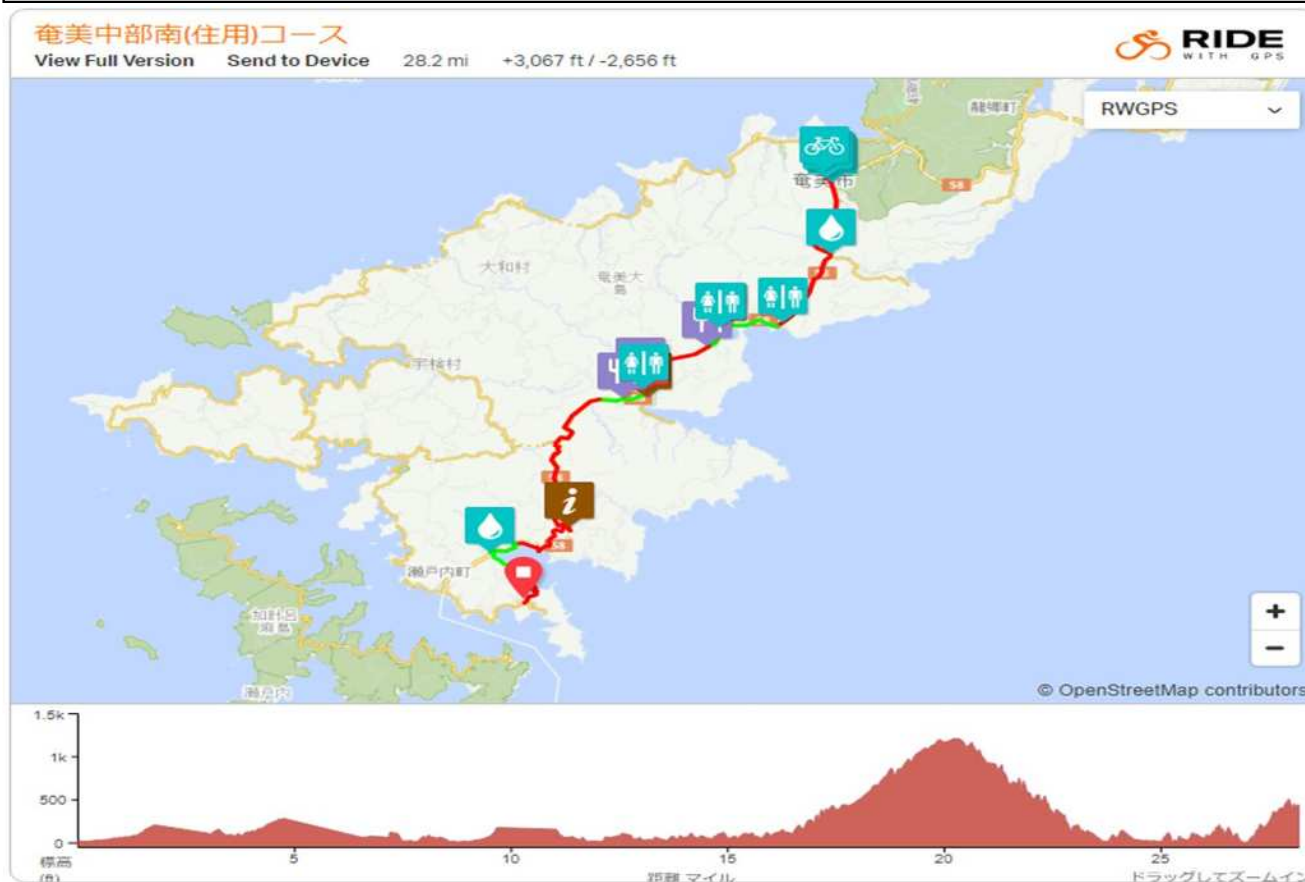
●ダイナミックな断崖と珊瑚で覆われた海岸を眺めながらのサイクリングが楽しめる。平坦な道と峠が繰り返すハードなコース。南部はお店などが少ないので、行動食の持参を推奨。

【注意喚起情報】

●自転車歩行者道がない箇所や、狭いトンネルがあるため注意が必要。

奄美中部南(住用)コース

- 起点: AIAIひろば(奄美市名瀬末広町), 終点: ハートが見える風景(大島郡瀬戸内町嘉鉄)
- 総走行距離: 約45.3km ■ 獲得標高: 約931m



【当コースについて】

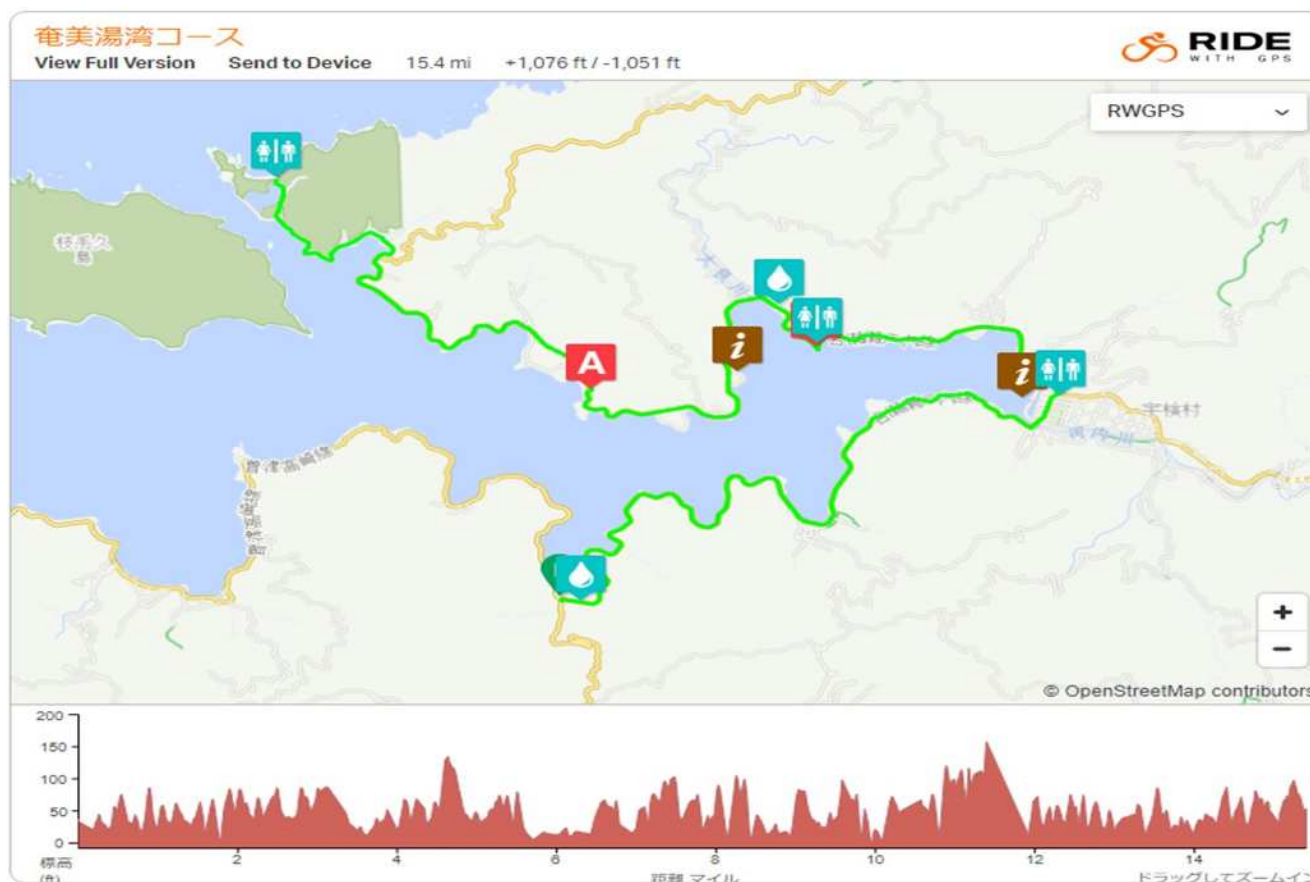
●長いトンネルが続き、山岳の緑の中を走るコース。連なる山々からは、奄美大島の成り立ちが感じられる。

【注意喚起情報】

●長いトンネルが連続して続くコース。自転車歩行者道に苔がある箇所が多く、滑りやすくなっている。

奄美湯湾コース

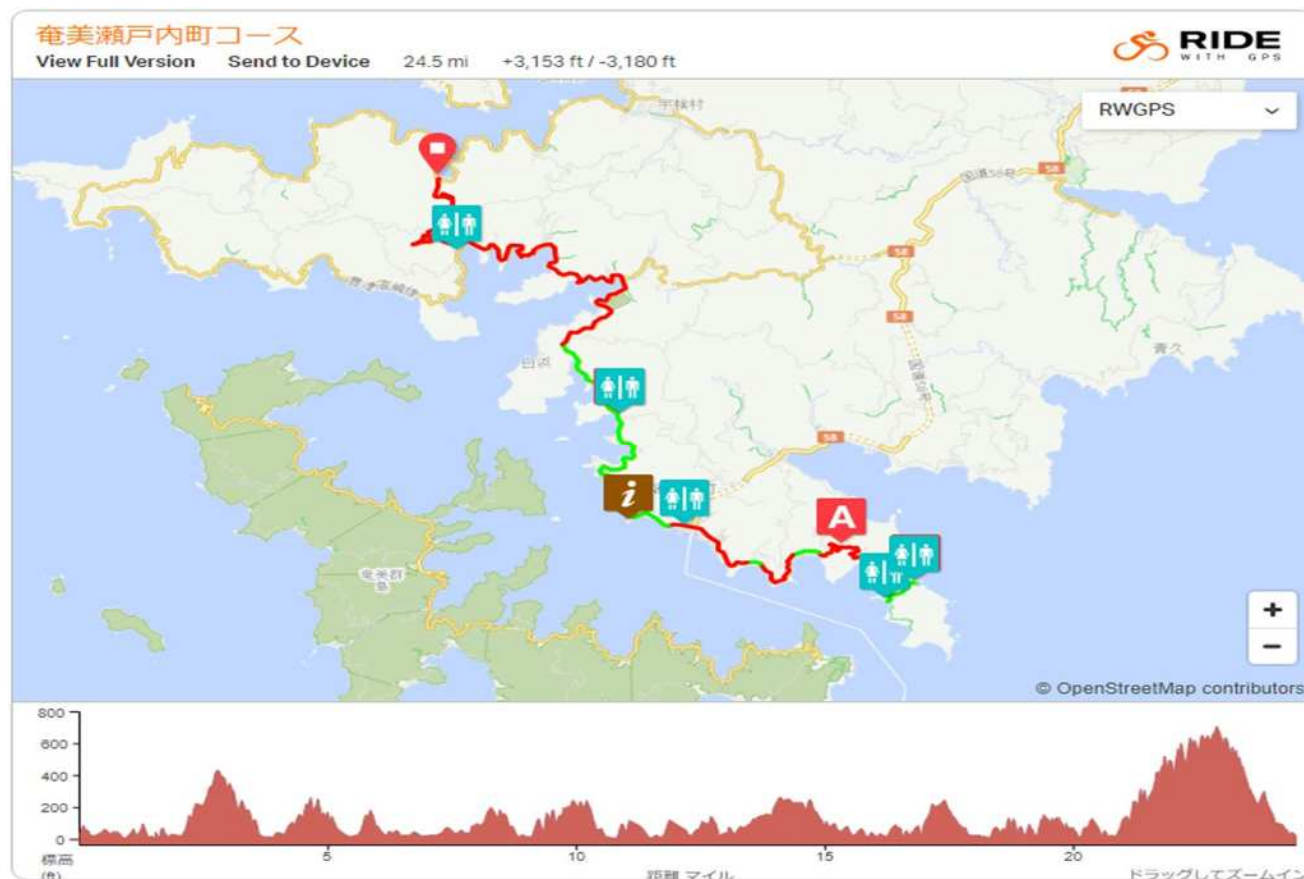
- 起点: 名柄集落(大島郡宇検村名柄), 終点: 船越海岸(大島郡宇検村宇検)
- 総走行距離: 約24.8km ■ 獲得標高: 約328m



【当コースについて】
● 焼内湾に沿って走り, ほぼ平坦なので体力のない方でも心配ないコース。

奄美瀬戸内町コース

■ 起点: ヤドリ浜(大島郡瀬戸内町蘇刈), 終点: 名柄集落(大島郡宇検村名柄)
■ 総走行距離: 約39.4km ■ 獲得標高: 約961m



【当コースについて】

● 瀬戸内の穏やかな景観を臨むコース。カーブに加えて上り下りも多く、少しハードなコース。

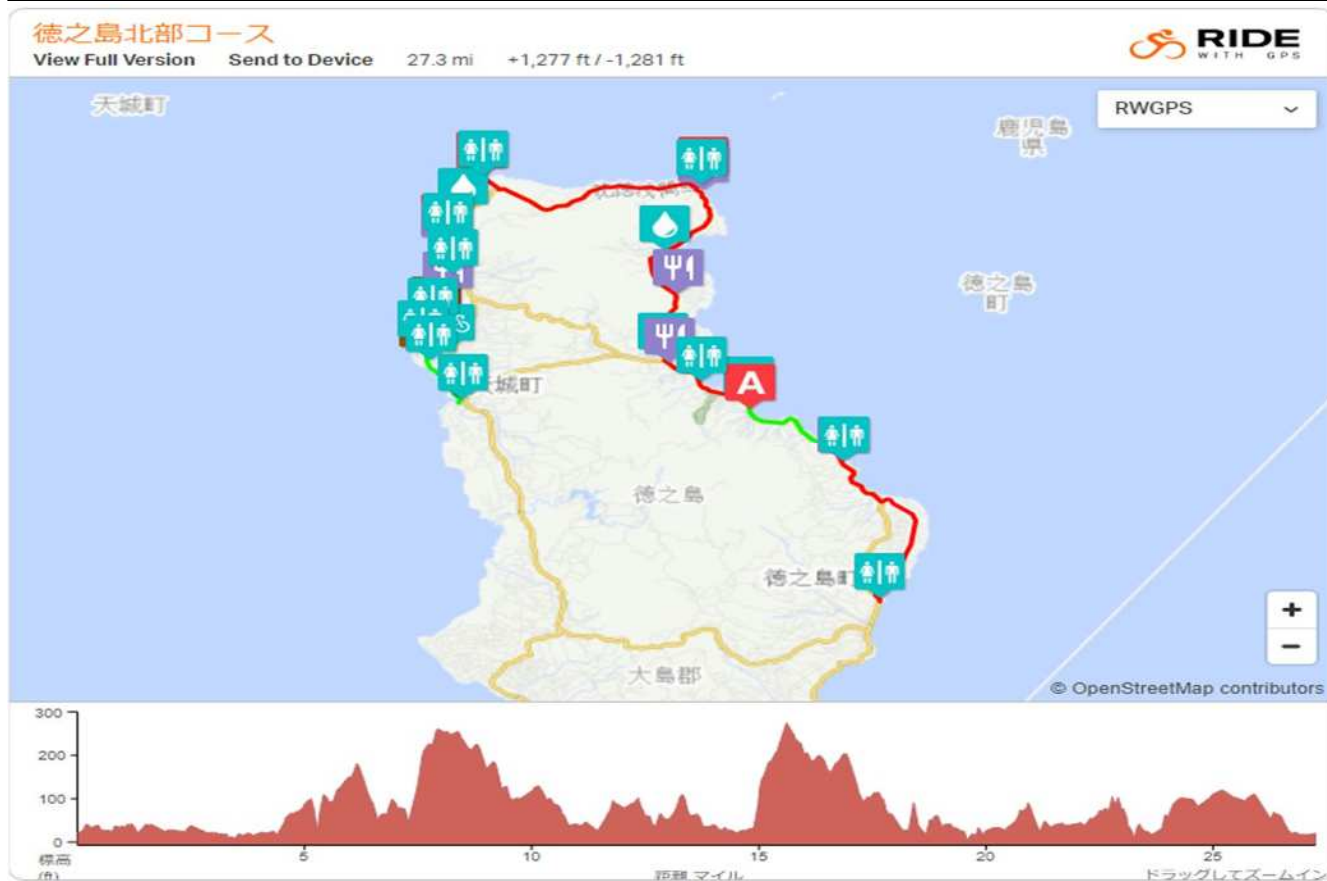
【注意喚起情報】

● 急な上り下り、急カーブが多いため注意が必要。古仁屋以外はお店が少ないため、必要であれば行動食を持って行った方が良い。

徳之島北部コース

■ 起点: 平土野港(大島郡天城町天城), 終点: 亀徳港(大島郡徳之島町亀津)

■ 総走行距離: 約43.9km ■ 獲得標高: 約382m



【当コースについて】

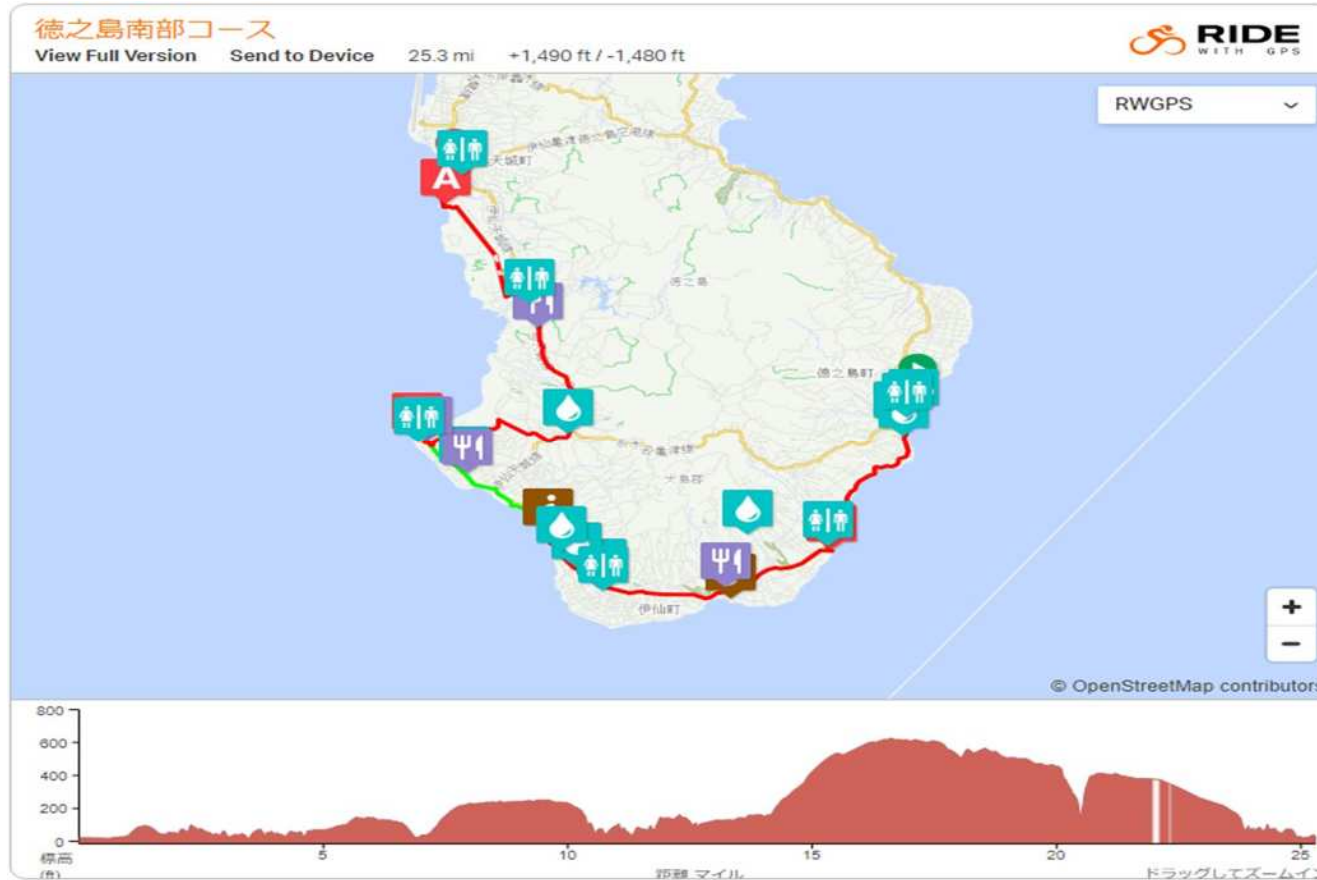
● 徳之島トライアスロンでも使われている, ならかな上り下りが続くコース。ダイナミックな「ムシロ瀬」と美しい海を眺めることができる。

【注意喚起情報】

● 車道で牛を散歩させていることがあるため, 注意が必要。

徳之島南部コース

- 起点: 亀徳港(大島郡徳之島町亀津), 終点: 平土野港(大島郡天城町天城)
- 総走行距離: 約40.7km ■ 獲得標高: 約454m



【当コースについて】

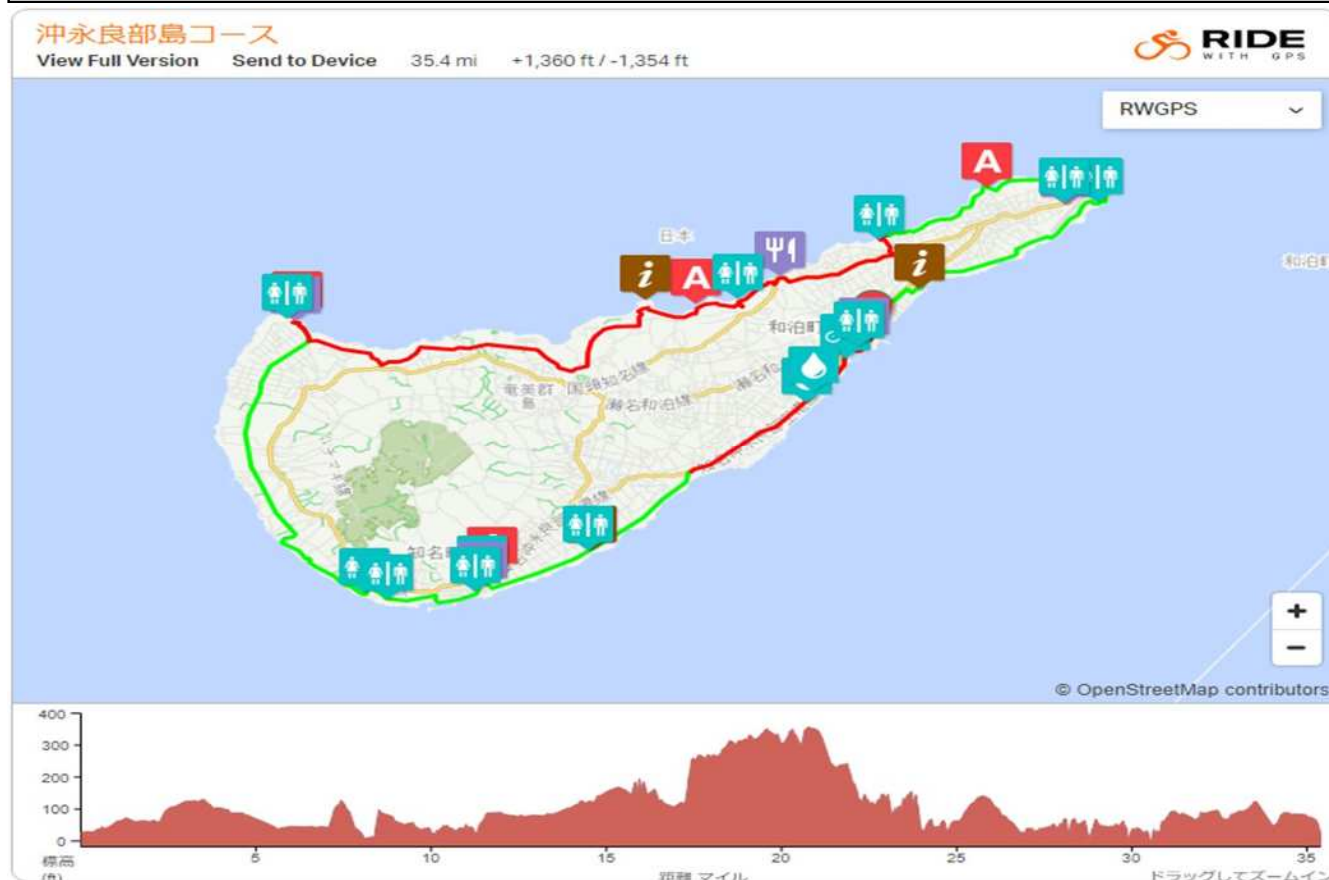
● 美しい砂丘の海岸を臨む、ガードレールの無い開放的なロード。海岸と海岸を繋ぎ、ダイナミックな上り下りを繰り返すコース。徳之島を代表するスポット「犬田布岬」「犬の門蓋」に立ち寄れる。

【注意喚起情報】

● 車道で牛を散歩させていることがあるため、注意が必要。サトウキビ畑を通る道は、冬場は特にサトウキビで視界が悪くなるため十分注意が必要。

沖永良部島コース

- 起点:和泊港(大島郡和泊町手々知名), 終点:和泊港(大島郡和泊町手々知名) ※時計回り
- 総走行距離:約56.9km ■ 獲得標高:約415m



【当コースについて】
●縦穴型の洞窟「フーチャ」をはじめとする北部はガードレールや電柱がないため、解放感いっぱいになれるコース。

【注意喚起情報】
●屋子母海岸付近は道路が砂で覆われていることがある。一時停止等の標識がない場所や不鮮明な交差点がある。ガードレールのない箇所は強風時に特に注意が必要。

鹿児島県サイクルツーリズムモデルルートに おける走行環境整備方針(案)

～案内看板の基準例について～

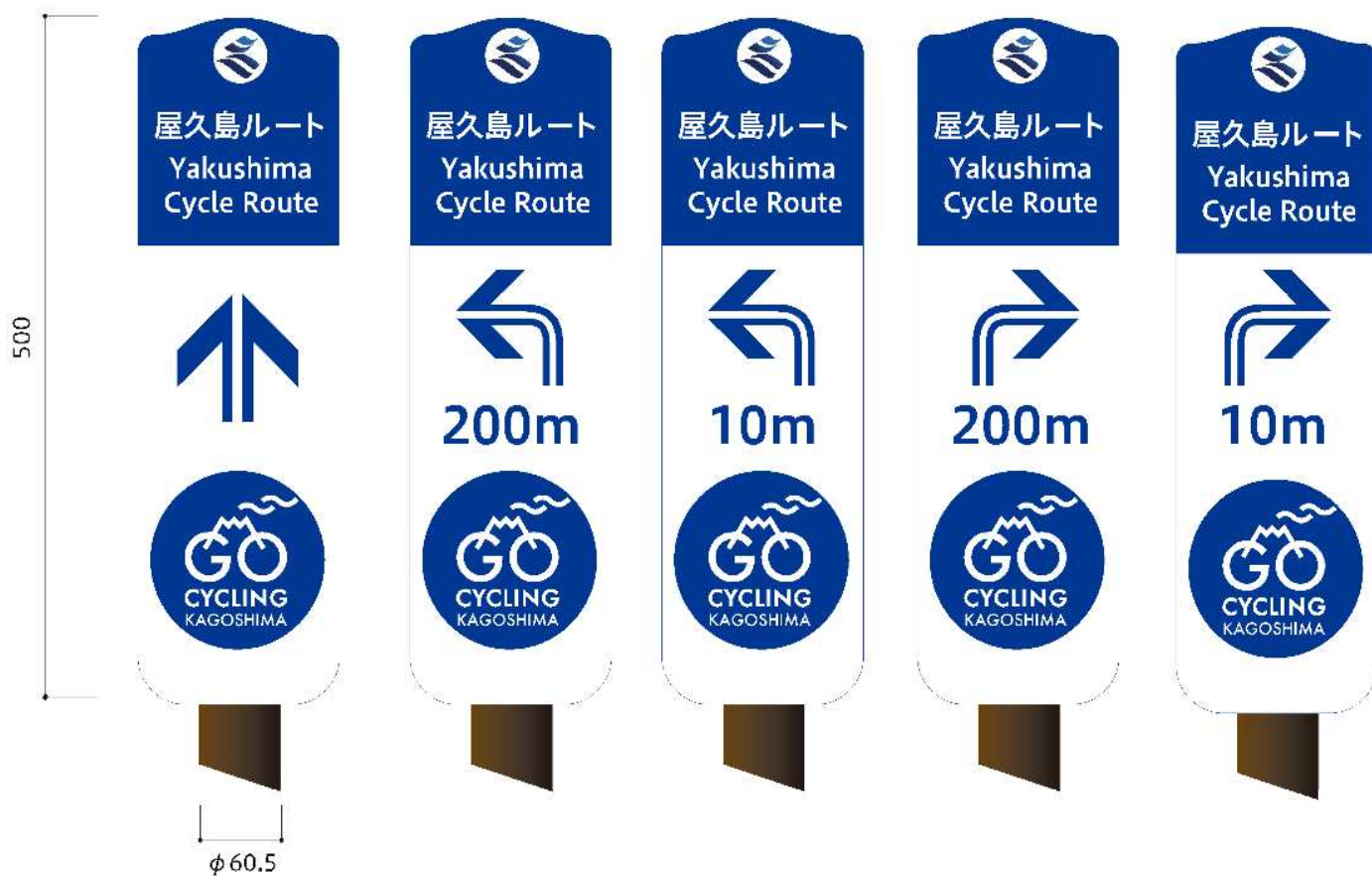
令和4年5月

鹿児島県サイクルツーリズム推進協議会

案内看板（基準例）

1. 看板のパターンと仕様

150



○デザイン
かごしまロマン街道の仕様と揃えることで、統一感を持たせる。

○寸法
全国事例や表示内容の情報量を踏まえ、板面の大きさは「150mm×500mm」を基本とする。

※フォントについては原則UDフォントとする。

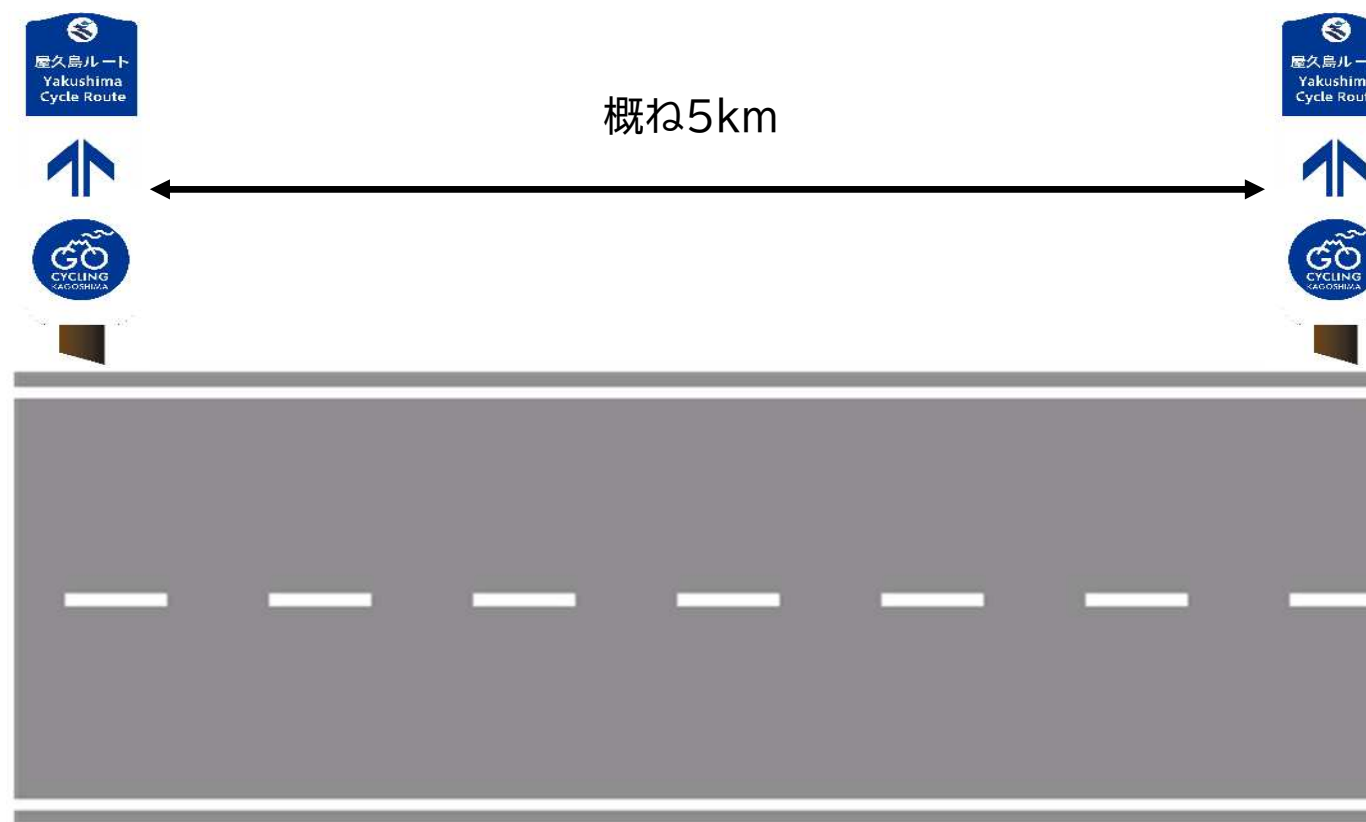
※標識柱がある場合は、シール貼付とすることも検討

■ DIC222 ■ 日塗工 15-20B

案内看板（基準例）

2. 単路部に設置する案内看板の設置位置

- ・ ナショナルサイクルルート指定要件に準拠し、概ね5kmを基本として設置。
なお、既設の案内標識を活用する場合はこの限りでなく、道路管理者の判断に応じた柔軟な変更を可能とする。



案内看板（基準例）

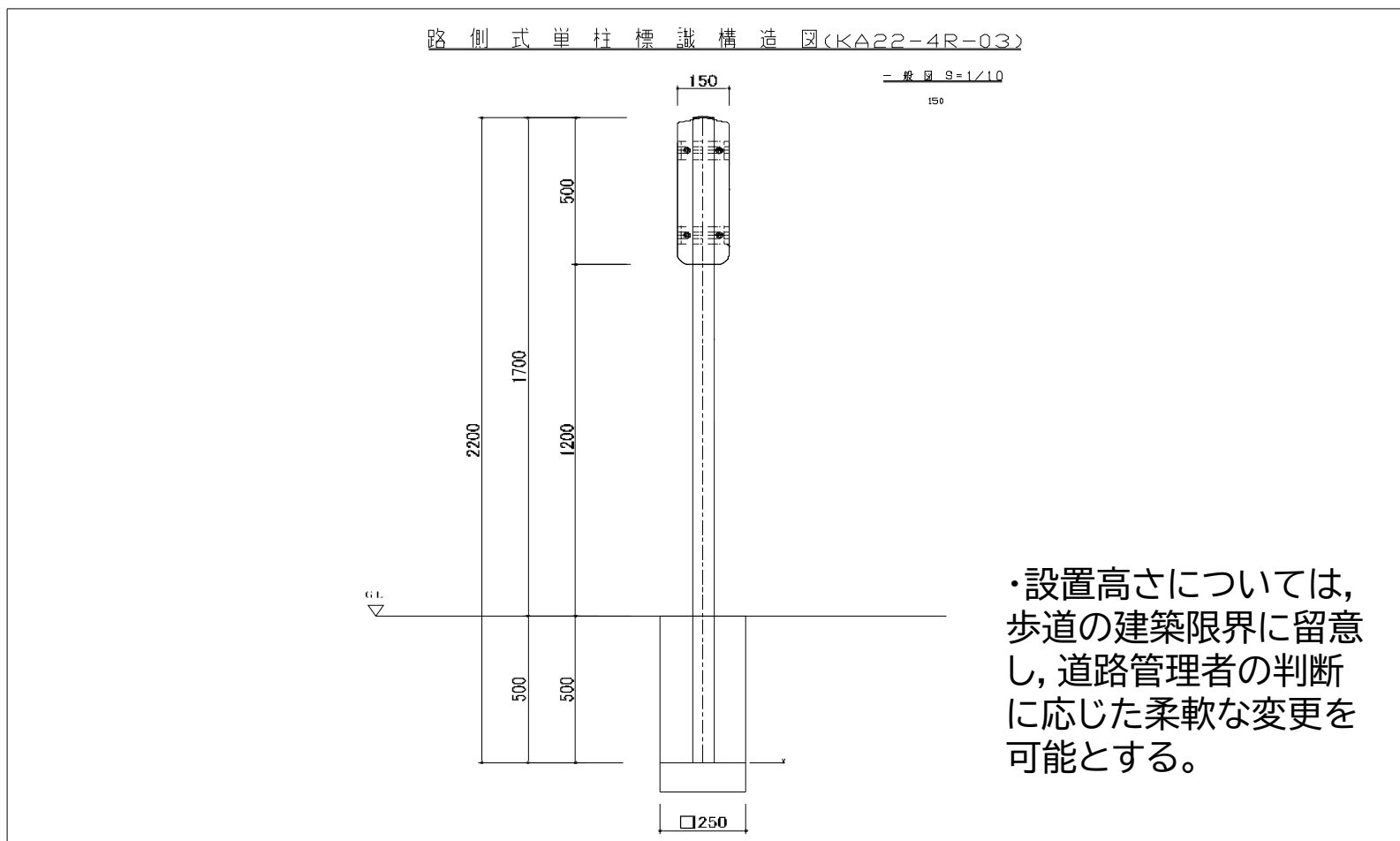
3.分岐部に設置する案内看板の設置位置

・全国事例(滋賀県, 太平洋岸自転車道 等)に準拠し, 「予告:分岐前200m」, 「予告:分岐前10m」, 「確認:分岐後10m」を基本として設置。なお, 既設の案内標識を活用する場合はこの限りでなく, 道路管理者の判断に応じた柔軟な変更を可能とする。



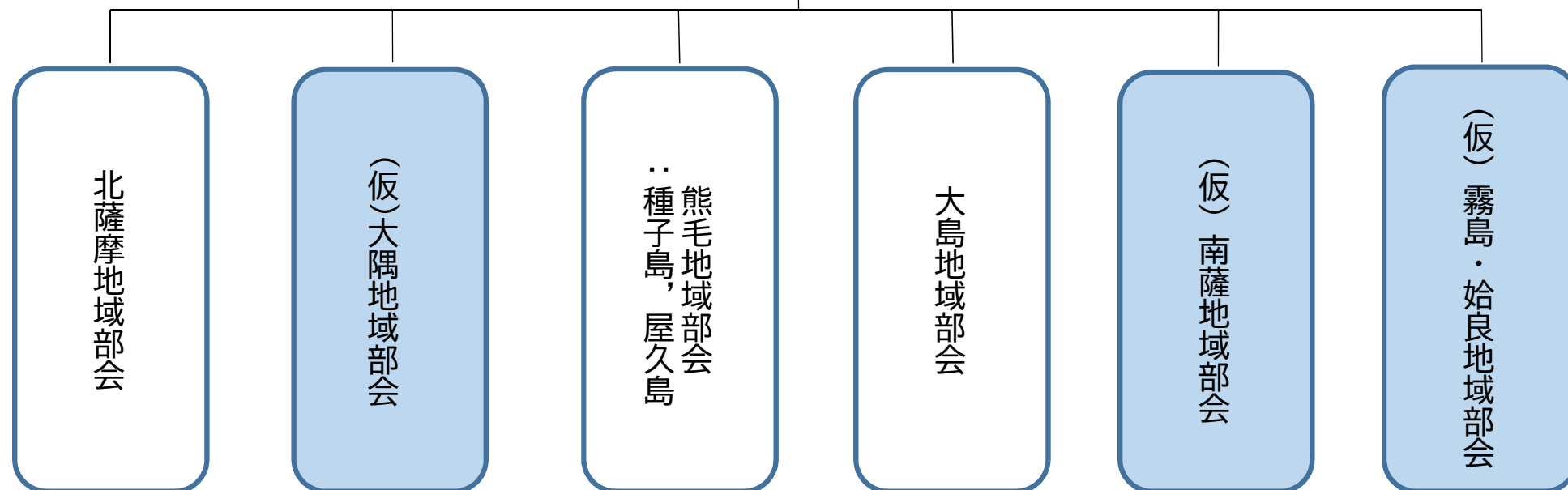
案内看板（基準例）

4.案内看板の設置高さ



協議事項：R4年度地域部会について

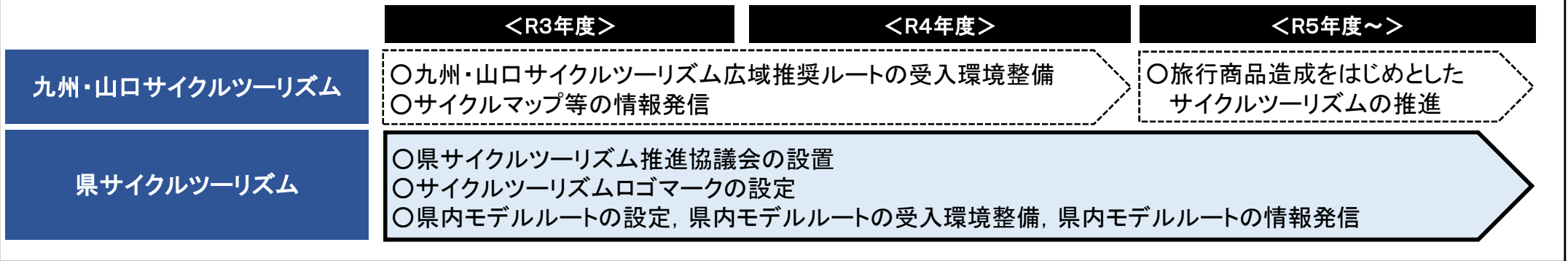
鹿児島県サイクルツーリズム推進協議会



R3年度設置の地域部会：北薩摩地域部会，熊毛地域部会(種子島，屋久島)，大島地域部会

R4年度設置予定の地域部会(仮)大隅地域部会，(仮)南薩地域部会，(仮)霧島・始良地域部会

【サイクルツーリズムの推進フェーズ】



① 県内モデルルートの設定

県サイクルツーリズム推進協議会を設置(R3. 7)し、離島を含む県内モデルルートについて検討・設定。

R3年度：4ルート

(北薩, 屋久島, 種子島)

R4～5年度：5ルート程度

(北薩, 南薩, 霧島・始良, 大隅, 大島)

<モデルルートイメージ>

- ・複数市町村を跨がる広域ルート(離島を除く)
- ・使用自転車はスポーツタイプを想定。
- ・スポーツイベント時だけでなく、通年でサイクルを楽しめるルート

<モデルルートの充実>

- ・設定したモデルルートは適宜見直しを行い、立ち寄りスポットの追加や枝ルートの設定など、内容を充実



② サイクリストの受入環境整備

i) 県内の観光スポット, 宿泊施設等においてサイクルスタンド等を整備。

ii) 案内標識, 路面案内等の整備
 ・安全で快適な自転車利用空間の提供のための案内標識, 路面標示(矢羽根), 路面案内等を整備。



iii) 鉄道や空港と連携した受入環境の充実
 ・サイクルトレイン, サイクルバスの運行, 空港, 主要駅での組立てスペースの確保等の協力要請。

③ 効果的な情報発信

i) 県観光HP内に特集ページを開設し, 各モデルルートや周辺の立ち寄りスポットなどを情報発信。

また, 県内市町村のサイクリング専用HPとのリンクにより情報を共有。

ii) 国内外の旅行社, インフルエンサー招聘による県内モデルルート情報を発信。

iii) 国内外の旅行社等へのツアー造成の働きかけ。

R4年度サイクルツーリズム推進事業 【R4当初：21,591千円】

<目的>

本県の自然・景観など豊かな地域資源を活かしたサイクルモデルルートを設定し、国内外へ地域の魅力を発信することにより、県内全域への自転車による周遊観光を推進し、交流人口の拡大を推進することを目的とする。

事業内容

県サイクルツーリズム推進協議会の開催

モデルルートや受入体制、情報発信など、本県におけるサイクルツーリズムに関する情報共有や意見交換、取組方針の合意形成を図る場として「県サイクルツーリズム推進協議会」を運営。

地域部会の開催

国内外の誘客を図るため複数市町村を周遊して楽しむモデルルートの設定や、受入環境等の検討を行う地域部会を開催する。

モニターツアーの実施

著名なサイクリスト等によるモニターツアーを実施し、その様子をSNSや雑誌等で情報を発信してもらう。
また、併せて故障等で走行困難となったサイクリストのタクシー等での輸送(レスキュー)についても検証。

サイクルセミナーの実施

受入環境整備、誘客に向けた取組等についてセミナーを開催。

サイクルツーリズムHPの運営

令和4年度に設定するモデルルート及びモニターツアーの様子等の掲載等、ホームページの更新を行う。

サイクルステーション等整備事業補助金(仮称)

サイクルステーションを整備する施設、自転車を安心して屋内に保管できる設備を整備する宿泊施設に対し、費用の一部を補助。

九州・山口サイクルツーリズム

サイクルツーリズム推進委員会による情報発信

ツール・ド・九州

- 国際サイクルレース「ツール・ド・九州2024」開催に向けた準備
- サイクリング周遊型旅行商品「ディスカバー九州」に係るプロモーション事業

(参考) ツール・ド・九州について

アプローチ	スポーツ大会	サイクルツーリズム(観光)
名称	ツール・ド・九州2023	ディスカバー九州
形態	UCI認定の国際サイクルレース	サイクリング周遊型旅行商品
開催時期	2023年秋頃	2022年度～
参加者	160名(招聘選手・スタッフ)	100名～200名 (諸手配状況に応じて可変)
目的と役割	<ul style="list-style-type: none">・核イベントの位置づけ・観客動員による経済波及効果・サイクルスポーツ人口の底上げ・スポーツツーリズムの推進・対欧米マーケットへの情報配信	<ul style="list-style-type: none">・広域連携の独自型サイクルルート確立・サイクリングインフラの整備促進誘発・ナショナル・サイクルルート認定促進・観光「コト消費」促進の為のコンテンツ作り・国内外のレジャーサイクリストへの情報発信
実施主体	「ツール・ド・九州2023」実行委員会	「ディスカバー九州」推進委員会
参画行政	特定の行政(県)	九州、沖縄、山口9県の行政(県)
備考	本県は「ツール・ド・九州2024」の開催に向けた準備を進める。	

令和4年度 第1回鹿児島サイクルツーリズム推進協議会 参加者名簿

別紙2

自治体（団体）名称	担当窓口（部署）	出席者氏名	備考
鹿児島市	スポーツ課 主任	西 悠	オンライン出席
鹿屋市	ふるさとPR課 係長 ふるさとPR課 主任主事	小竹 真吾 西郷 裕也	オンライン出席
枕崎市	水産商工課 観光交流係 主事補	守崎 伶	オンライン出席
阿久根市	商工観光課 主事	宮田 景大	オンライン出席
出水市	観光交流課 観光振興係長 観光振興係 主査	松下 誠 窪 太巻	会場出席 オンライン出席
指宿市	観光課 主幹兼観光PR係長	田中 恭介	会場出席
西之表市	経済観光課 主査	川村 勇矢	オンライン出席
垂水市	水産商工観光課 観光・ジオパーク係 主査	後迫 智洋	オンライン出席
薩摩川内市	経済シティセールス部 観光物産課 グループ員 経済シティセールス部 観光物産課 グループ員	久保 聡 川村 翔太	会場出席
日置市	商工観光課観光戦略係 主任	藤川 ひかり	オンライン出席
曾於市	社会教育課 主査 商工観光課 主事	瀬戸山 大智 田崎 啓太郎	オンライン出席
霧島市	商工観光部 観光PR課 グループ長 主査	隈元 秀一 瀧田 賢	オンライン出席
いちき串木野市	シティセールス課 主査	稲森 範子	会場出席
南さつま市	観光交流課観光交流係 係長 観光交流課観光交流係 主任	坂上 幸司 小原 和彦	オンライン出席
志布志市	港湾商工課 主任主査	西 裕大	オンライン出席
奄美市	袖観光課 課長 主事補	川畑 博行 粉 貴昭	オンライン出席
南九州市	商工観光課 主査	有園 由香	オンライン出席
伊佐市	地域振興課 事務主査	原田 義壽	オンライン出席
始良市	企画部商工観光課観光係 主事	中川路 航	会場出席
さつま町	商工観光PR課 係長	松尾 弘彦	会場出席
長島町	水産景観課 会計年度任用職員	二階堂 美慧	オンライン出席
湧水町	商工観光PR課 課長補佐	福寿 裕臣	会場出席
大崎町	企画調整課 主事	豊住 文	オンライン出席
東串良町	企画課 主査	甫村 和哉	オンライン出席
錦江町	観光交流課		欠席
南大隅町	商工観光課 主査	黒瀬 謙太	オンライン出席
肝付町	産業創出課 商工観光係長	磯俣 圭一	オンライン出席
中種子町	企画課 係長	利川 英樹	オンライン出席
南種子町	企画課 観光経済係		欠席
屋久島町	観光まちづくり課 主査 観光まちづくり課 主査	宇都 翔吾 眞邊 克昭	オンライン出席
大和村	企画観光課 主査	藤村 雄樹	オンライン出席
宇検村			欠席
瀬戸内町	水産観光課主事補	龍山 和彦	オンライン出席
龍郷町	企画観光課 課長補佐	村山 健一郎	オンライン出席
喜界町	企画観光課 課長 企画観光課 主事	中村 幸雄 登 聖佳	オンライン出席
徳之島町	おちてなし観光課 主幹兼係長	沖 よしみ	オンライン出席
天城町	商工水産観光課		欠席
伊仙町	きゅらまち観光課 係長	安田 未来	オンライン出席
和泊町	企画課 課長補佐	永野 敏樹	会場出席
知名町	企画振興課 課長	元栄 吉治	会場出席
	企画振興課 主査	先田 和人	会場出席
	企画振興課 主査	大屋 一俊	オンライン出席
与論町	商工観光課		欠席
鹿児島県道事務所	交通対策課 課長 専門員	佐藤 博信 下玉利 光恵	会場出席
大隅河川国道事務所	道路管理課		欠席
川内川河川事務所	調査課 調査係	大窪 雄大	オンライン出席
公益社団法人 鹿児島県観光連盟	国内誘致部 課長	木村 邦彦	会場出席
公益財団法人 鹿児島観光コンベンション協会	観光推進部		欠席
枕崎市観光協会			欠席
株式会社まちの灯台阿久根			欠席
一般社団法人出水市観光特産品協会	観光部 観光主任 協力隊	盛 愛佳 坂本 謙	オンライン出席
公益社団法人 指宿市観光協会	総務部		欠席

自治体(団体)名称	担当窓口(部署)	出席者氏名	備考
一般社団法人 日置市観光協会			欠席
一般社団法人 曽於市観光協会	主任	赤坂 泰成	オンライン出席
公益社団法人 霧島市観光協会	霧島温泉市場観光案内所 主任	川原 健一	オンライン出席
いちき串木野市観光特産品協会			欠席
一般社団法人 南さつま市観光協会			欠席
一般社団法人 奄美群島観光物産協会	統括リーダー	武下 義広	オンライン出席
南九州市観光協会	専務	大坪 力	会場出席
一般社団法人 始良市観光協会	事務局 事務局長	渡辺 秀文	オンライン出席
一般社団法人 さつま町観光特産品協会			欠席
肝付町観光協会			欠席
屋久島観光協会	事務局 事務局長	西川 泰伸	オンライン出席
喜界島観光物産協会			欠席
一般社団法人 徳之島観光連盟			欠席
一般社団法人 おきのえらぶ島観光協会	事務局 事務員	森岡 峻一	オンライン出席
株式会社薩摩川内市観光物産協会	観光旅行事業部 部長	三宅 泰史	欠席
株式会社おすすみ観光未来会議	チーフディレクター 兼 総務課長	原添 耕作	会場出席
(一社) あまみ大島観光物産連盟	事務局 事務局長	境田 清一郎	オンライン出席
一般社団法人 いぶすき観光デザイン	事務局		欠席
鹿児島県自転車競技連盟	事務局		欠席
鹿児島県サイクリング協会	事務局		欠席
九州旅客鉄道株式会社	鹿児島支社 営業運輸課 担当課長	満田 拓郎	会場出席
肥薩おれんじ鉄道株式会社	営業戦略室 主任 営業戦略室 係員	鬼塚 崇 片岡 洸太	オンライン出席
鹿児島県旅客船協会	事務局長	平田 勇夫	オンライン出席
日本エアコミューター株式会社	地域連携部	中鶴 華子	会場出席
鹿児島空港ビルディング㈱	事業広報課 主任	中次秀樹	オンライン出席
一般社団法人 鹿児島県タクシー協会	専務理事	山口 俊則	オンライン出席
公益社団法人 鹿児島県バス協会	事務局長	山口 重幸	オンライン出席
県警察本部	交通規制課 課長補佐 交通規制課 地方規制係 主任	華江 博幸 齊野 裕貴	会場出席
観光・文化スポーツ部スポーツ振興課	スポーツ振興課 主幹兼スポーツツーリズム係長	出口 哲也	会場出席
総務部男女共同参画局くらし共生協働課	主幹兼くらし安全係長	田淵 知子	オンライン出席
総合政策部交通政策課	主幹兼幹線交通係長	中川 雅晴	オンライン出席
土木部道路維持課	技術主幹兼改良施設係長	渡辺 貴彦	会場出席
鹿児島地域振興局	総務企画課 主事	小野 優	会場出席
南薩地域振興局	総務企画部総務企画課地域振興係 係長 主事	池田 美千代 角 大地	オンライン出席
北薩地域振興局	総務企画課 課長 総務企画課 地域振興係長	永山 善徳 兒玉 直也	オンライン出席
始良・伊佐地域振興局	総務企画部総務企画課 主事	霧島 宏樹	オンライン出席
大隅地域振興局	総務企画課 地域振興係 係長 総務企画課 地域振興係 主事	新名主 直哉 三月田 千夏	オンライン出席
熊毛支庁	総務企画部総務企画課 主幹兼地域振興係長 専門員	新西 孝 石田 和幸	オンライン出席
熊毛支庁屋久島事務所	総務企画課(環境・観光担当) 主幹	池田 洋一	オンライン出席
大島支庁	総務企画課 商工観光係長 総務企画課 商工観光係 主事	納山 尚樹 内田 あかね	オンライン出席
社会福祉法人 鹿児島県身体障害者福祉協会	スポーツ情報課 課長	前田 究	オンライン出席
一般社団法人 鹿児島県視覚障害者団体連合会		叶 亜寿香	オンライン出席
一般社団法人 鹿児島県聴覚障害者協会	理事	木原田 隆	オンライン出席

令和4年度第1回鹿児島県サイクルツーリズム推進協議会

日時：2022年5月23日 月曜日

参加者：74自治体・事業者

(オンライン61、リアル13)

1. 協議会 議題内容

(1)開 会

(2)議 事

1. 協議事項

1 モデルルートの承認について

モデルルート(九州・山口広域推奨ルート)について 資料 1

モデルコース(奄美大島・徳之島・沖永良部島)について 資料 2

2 サイクルルートに係る走行環境整備方針について 資料 3

3 地域部会について 資料 4

2. 報告事項

令和4年度事業計画について 資料 5

(3)意見交換

(4)閉会

【会議資料】

- ・資料 1：モデルルート(九州・山口広域推奨ルート)について
- ・資料 2：モデルコース(奄美大島・徳之島・沖永良部島)について
- ・資料 3：サイクルルートに係る走行環境整備方針について
- ・資料 4：地域部会について
- ・資料 5：令和4年度事業計画について
- ・別紙 1：協議会規約
- ・別紙 2：第1回協議会参加者名簿

【議事録】

鹿児島県 観光・文化スポーツ部 PR観光課 廻(めぐり)課長 開会の挨拶

座長：黒川様がファシリテーターとして進行実施。

(1) 協議事項

①「モデルルートの承認」について

●モデルルート（九州・山口広域推奨ルート）」

【資料1】PR観光課濱田主幹より説明

- ・資料1に沿い、これまでの九州・山口サイクルツーリズム広域推奨ルート（県版）設定状況、コースを説明
- ・錦江湾を生かすコンセプトを基に設定、現在4コースが推奨ルートとなっている
 - ・志布志-南大隅町ルート
 - ・南大隅町-指宿市ルート
 - ・指宿市-長島町ルート
 - ・湧水町-阿久根市ルート

●「モデルコース(奄美大島・徳之島・沖永良部島)」

【資料2】大島支庁総務企画課納山(のうやま)係長より説明

- ・資料2に沿い、これまでの奄美大島・徳之島・沖永良部島におけるモデルコースの設定状況を説明

①サイクルマップはGPXデータを作成、サイクリングコース共有アプリ「ツール・ド」への掲載を実施

②起伏が激しい地域やレンタサイクルの普及率が低い等の状況から中級者をターゲット

③各島を代表するスポットを巡り、コース完走することで島を一周する達成感を得られる「シンボリック」なコース

④より幅広いターゲット（初心者、親子、女子旅）に適したコースを「派生コース」として市町村に設定いただくことも想定している

・奄美大島：6コース、徳之島：2コース、沖永良部島：1コース 合計：9コース

●質疑応答：奄美市紬観光課

Q：上記③について、コースを完走しても1周にはならないと思うが、全国的にも1周コースの人気の高いため、④派生コースも含めてつなぎあわせると1周コースになるということも想定しているのか

A：派生コースでの1周コースの展開についても、今年度の地域部会で提案検討することが可能（PR観光課濱田主幹）

●「九州・山口広域推奨ルート」及び「奄美大島・徳之島・沖永良部」のサイクルコースを県のモデルルートとし、引き続き受入環境整備、情報発信等を進める

②サイクルルートに係る走行環境整備方針について

【資料3】PR観光課 濱田主幹より説明

- ・昨年度2月の協議会に説明した道路整備方針(路面標示)については後日改めて協議させていただきたい

●看板パターンと仕様

- ・デザイン・・・かごしまロマン街道の仕様と揃え、統一感を持たせる
- ・寸法・・・全国事例や表示内容の情報量を踏まえ、板面の大きさは「150mmX500mm」を基本とする
- ・フォントについては原則UDフォントとする
- ・標識柱がある場合は、シール貼付とすることも検討(道路管理者の判断に応じた柔軟な変更を可能とする)

・案内看板(基準例)

単路部に設置する案内看板の設置位置

NCRの指定要件に準拠し、概ね5kmを基本として設置

・分岐部に設置する案内看板の設置位置

全国事例に準拠し「予告:分岐前200m」、「予告:分岐前10m」、「確認:分岐後10m」を基本として設置

- ・案内看板の高さ 設置高さについては、歩道の建築限界に留意し、道路管理者の判断に応じた柔軟な変更を可能とする

●質疑応答:徳之島町おもてなし観光課 米山主幹兼係長

Q:案内看板は全て県の予算によって設置されるという認識でよろしいか

A:設置場所に応じて国, 県, 市町村それぞれの道路管理者と協議をしながら決めていく
(PR観光課濱田主幹)

●サイクルルートの走行環境整備については事務局説明のとおりとする

③地域部会について

【資料4】PR観光課 濱田主幹より説明

- ・資料4に沿い、鹿児島県サイクルツーリズム推進協議会、地域部会の説明

・R3年度設置の地域部会:北薩摩地域部会、熊毛地域部会、大島地域部会

・R4年度設置予定の地域部会:大隅地域部会、南薩地域部会、霧島・始良地域部会

・第1回地域部会については、7月以降を目処に開催予定

●質疑応答：始良・伊佐地域振興局総務企画課 霧島主事

Q：今年度の地域部会の日程は決まっているのか

A：まだ決定していない、日程が決まり次第連絡する

(PR観光課濱田主幹)

●今年度は、南薩、霧島・始良、大隅地域に地域部会を設置する

(2) 報告事項

R4年度事業計画について

【資料5】 PR観光課濱田主幹より説明

・資料5に沿い、令和4年度鹿児島県サイクルツーリズム推進事業について説明

●事業内容

- ・鹿児島県サイクルツーリズム推進協議会の開催(2回)5月、2月(セミナーも併催)
- ・地域部会の開催 各地域2回～3回開催予定
- ・モニターツアーの実施(秋頃の開催)自転車故障など走行困難となった場合の輸送の検証も実施予定
- ・サイクルツーリズムHPの運営、今年度設定するモデルルートやモニターツアーの様子などを掲載し情報発信する
- ・サイクルステーション整備補助事業を実施 モデルルート周辺施設への支援を予定
案として費用の1/2を補助、上限サイクルステーション2万円、宿泊施設5万円程度で想定
夏に募集開始を予定

●質疑応答：なし

(3) 意見交換

●大島支庁総務企画課 納山(のうやま)係長 (R4年度計画)

・奄美大島・徳之島・沖永良部島に加え、今年度は、モデルコースを新たに設定する喜界島、与論島でも協議会を設置。モニターツアーを実施し、鹿児島本土や沖縄から奄美地域への移動、受入環境等について検証する

またサイクリスト受入のコーディネーターとなる人材を育成するため、サイクルセミナー開催も予定している

●おおすすめ観光未来会議 原添総務課長 (サイクルマップ作成, モニターツアー等)

・昨年度は、観光庁の事業を活用し、サイクル中心のアドベンチャーツーリズムについて、16コースの実証実験を行った。廃線跡の大隅線、志布志線を活用するルートも盛り込み、大隅半島のサイクルマップを作成

- ・大隅基幹ルート5コース(うち2コースは九州・山口広域推奨ルートでもある)を設定、推奨ルートから漏れていた志布志から曾於のルートも新規設定し、全部で16コース
- ・かごしま国体(2023開催)のロードレースルートも上記のコースに含まれる。
- ・今年度は上記サイクルマップを活用したルートでの誘客に向けた取り組みを実施していく

(黒川座長よりコメント)

・小さいルートのつなぎ合わせはサイクルツーリズムにおいて重要である、立ち寄りポイントを多く設定することで、目的がサイクリングではなく、散策として巡ってもらい、観光としてお金を落としてもらえるようになる、ターゲットによってコース設定を検討する必要がある

●南九州市商工観光課 有菌主査 (シェアサイクル導入)

- ・シェアサイクル「茶巡」について共有
- ・電動アシスト自転車を30台用意し、モデルコースの設定とガイドマップを作成した
- ・サイクルポートを市内で5か所設定
- ・南九州市の自然歴史を気ままに観光客に利用いただきたい
- ・休憩施設「茶時スポット」を設定、市内7箇所が一番茶を楽しめる

(黒川座長よりコメント)

- ・自転車の観光振興は、このように遊び心を持って取り組んで行くことも重要

●質疑応答 : (一社) あまみ大島観光物産連盟 境田事務局長

Q : ツールド九州について、2024年度と記載があるが2023年度開催ではないか

A : 2023年度からツールド九州として、本格的な国際レースが福岡、熊本、大分で開催スタートされる予定。2023年から開始となるが、23年には鹿児島国体がある兼ね合いもあり、鹿児島県自転車競技連盟としては2024年に誘致していきたいという考えでの記載となっている
(黒川座長)

●ご意見 : (一社) あまみ大島観光物産連盟 境田事務局長

- ・モニターツアーについては、アドベンチャーツーリズム的なもの、地元の自然・文化体験(アクティビティ)で地元の人と交流や食文化の体験などで自転車(e-bike利用も含め)を活用するツアーを実施してほしい
- ・観光資源の磨き上げ、滞在日数を増やすためにも、アドベンチャーツーリズムと組み合わせる必要があると考える
- ・奄美トレイルコースが8エリアで設定されており、歩くコースのイメージであるが道路が舗装されているため、サイクルに適していると考え。各トレイルコースを地域コースとして生かしそれぞれの島を一周できるような設定も考えていただきたい

・奄美はトンネルが多いため、トンネル内は歩道を走るなど警察とも確認しながら安全面も考えていただきたい

●大島支庁 総務企画課 納山（のうやま）係長

- ・モニターツアーについては、ご意見を踏まえ今後検討していきたい。
- ・奄美トレイルコースとの関係について、全部のコースではないが、奄美トレイルのコースも考慮しサイクルコースを作成している
- ・今年度協議会でも、警察と共に、安全上の協議を行い実施していきたい

●黒川座長

・それぞれのエリアでも当てはまる課題である
アテンドする仕組みや、立ち寄りポイントを充実させるなど、走ることがメインではな方々にも楽しんでいただけるようなものを作り上げていくことが大事
地域が元気になるようなサイクルツーリズムも考えていただきたい

●鹿児島県観光連盟国内誘致部 木村課長

・県観光連盟で情報発信をするので、サイクルツーリズムに関する情報を協議会事務局に積極的に共有いただきたい

●南さつま市観光交流課 小原主任 事例報告・質問

・昨日5/22にツール・ド・南さつまを2年半ぶりに開催
60kmコースで実施、県内から多くのサイクリストに参加いただいた
イベントではなく日常からサイクリストが地域を巡っていただけるような取り組みやアドベンチャーツーリズムも一つの切り口と考えていきたい

Q：環境省の事業などで導入したe-bikeのレンタル状況など教えていただきたい

また、提案として今後、県内のサイクリストの方々が地元を走り発信していくことで、サイクルツーリズムを盛り上げる取り組みができないか考えていきたい

●黒川座長

・南さつま市には、オリンピックで使用された自転車140台が寄付されるなど、レンタサイクルが充実している先進的な自治体である
また、e-bikeについては奄美に多く導入されており、先進地域であることから、奄美の状況を教えていただきたい

●(一社) あまみ大島観光物産連盟 境田事務局長

・e-bikeについて、現状、奄美大島では、合計79台配置されている
レンタルを開始しているのは、龍郷町、瀬戸内町、笠利地域
その他はまだレンタルに至っておらず、ガイド付きでe-bike貸出を展開中
今後、e-bikeの連絡会議を設け、保険、安全等対応を検討していく予定
また今後、シェアサイクルの仕組みを検討していく予定

●黒川座長

・普通の自転車とは違ったe-bikeならではの課題もでてくるので、また今後も共有いただきたい

また南さつま市からの提案について、内需拡大の意味からも、地域の方にとっても魅力ある場所になりかつ県民の皆様の健康づくりにも繋げていければ、この事業は有意義なものとなると考える

●閉会